

5月の安全運転ごよみ

- 3日(日)...**憲法記念日**
- 4日(月)...**みどりの日**
- 5日(火)...**こどもの日**
- 6日(水)...**振替休日**
- 8日(金)...**世界赤十字デー**
- 12日(火)...**看護の日**
- 31日(日)...**世界禁煙デー**

5月の安全運転目標

自転車に対する安全意識を高めよう

自転車に対する交通反則通告制度が開始され、これまで以上に車道を走行する自転車が多くなりました。車道を走行する自転車の危険行動を予測することはもちろん、自転車の安全確保にも配慮しながら事故防止に努めましょう。

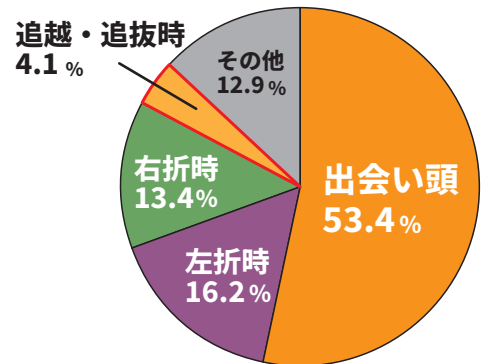


自転車事故の8割が対自動車事故！！

自転車に関連する交通事故の特徴として、その8割以上が自動車との事故となっています。

さらに、自転車が起こした事故を類型別にみると「出会い頭」がもっとも多く、次いで「左折時」、「右折時」となっているほか、「追抜・追越時」の事故も目立つため、注意が必要です。

また、2026年4月には、自動車が自転車を追い越す際のルールも整備されました。運転中、前方に自転車を見かけた際には、「安全な側方間隔を確保する」「側方間隔が十分でない場合は速度をしっかりと落とす」といったことを意識して、慎重に運転してください。



警察庁「自転車乗用者の事故類型別交通事故発生件数」

事故事例 歩道から車道に出てきた自転車と衝突

2025年3月11日午後6時15分ごろ、兵庫県伊丹市の片側1車線の直線道路を走行していた軽自動車が、歩道から車道にはみ出てきた子どもが乗る自転車と衝突する事故が起きました。

車道上の自転車だけではなく、歩道上を走行する自転車に対しても、段差や障害物による車道へのはみ出しを予測しましょう。



自転車の危険行動を予測する

スマートフォンでの通話や画面注視を伴う、いわゆる「ながら運転」の自転車は、視覚・聴覚が低下し、周囲の車両に気づきにくい状態にあります。その結果、片手運転によるふらつきや、後方確認を伴わない進路変更などの危険行為を招くおそれがあります。

また、交差点では信号無視や一時停止不履行による飛出しも多く見受けられます。自転車は「交通ルールを守らず出現する可能性がある」という前提で、その挙動を常に予測することが重要です。



ながら運転の自転車には要注意

自転車との安全確保に努める

交通事故においては、自転車側に違反があった場合でも、自動車側が重い責任を問われるケースが少なくありません。

自転車の側方を通過する際には、自転車が自車に気づいていないことを前提に、十分な側方間隔を確保してください。間隔の確保が困難な場合は、確実に減速することが必要です。

また、交差点では自転車の停止を期待せず、「構えブレーキ」を基本とした慎重な進行を心がけましょう。「相手がルールを守るはず」という思い込みを排し、自動車側が主体的に安全を確保する運転が求められます。



自転車の停止を期待せず、主体的な安全確保を

常設アンケート欄設置のお知らせ

皆様のご意見をお寄せください

RMSニュースのデザインリニューアルに伴い、裏面下部にアンケートコーナーを設けさせていただきます。

お客様からのご意見、ご要望を伺いながら、より良い情報を提供できるよう努めてまいります。ぜひ率直なご意見やご感想をお寄せください。

(例:こんなテーマが知りたい！など)



アンケートはこちらから